

プログラム名：脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現

PM名： 山川 義徳

プロジェクト名： 代替技術

委 託 研 究 開 発

実 施 状 況 報 告 書 (成 果)

平 成 2 7 年 度

研究開発課題名：

汎用型脳計測応用

研究開発機関名：

NPO 法人ニューロクリアティブ研究会

研究開発責任者

服部 泰

# I 当該年度における計画と成果

## 1. 当該年度の担当研究開発課題の目標と計画

「超小型脳波デバイスの開発と新産業創生」プロジェクトにおいてヘッドマウント型情報端末（メガネ型、カチューシャ型、ヘッドフォン型、帽子型など）としてどのように製品化するか、意匠、デザイン、材質などのプロデュース並びに新しい需要創出にふさわしい市場と販路を開拓する。同時に独自の知的所有権の取得のみならず各受託研究機関における取得の協力や製品化への活用についても検討する。

## 2. 当該年度の担当研究開発課題の進捗状況と成果

### 2-1 進捗状況

- ・ヘッドマウント型脳波測定器を3種類開発
- ・電極の位置を容易に調整できるヘッドマウントを2種設計
- ・特許1件出願手続き中

### 2-2 成果

#### 2-2-1 ヘッドマウント型携帯型脳波測定器デザインコンセプト3種の設計開発

##### ・Samurai Gear

樹脂のメガネフレームに金属の板を装着し、頭頂部や後頭部まで可変的に電極を設置できるようにしたヘッドマウント型フレーム

##### ・Angel Sleeve

全金属のメガネ型ヘッドマウント型フレーム。メガネの中心から側頭葉を経由して後頭部に至る2本のバーを持っていてバーに沿った位置に電極を自由に装着できる。

##### ・Grace Tiara

ティアラ型全金属のヘッドマウント型フレーム。王冠型なので側頭葉や後頭部に電極を装着できる。

### 2-3 新たな課題など

研究開発を進めるうえで新たな課題は発生していないと考える。

## 3. アウトリーチ活動報告

該当なし